

西来寺報

二〇一三年 秋
第十一号

新発意!

実りの秋を迎え、皆様ますますご健勝のことと存じます。

西来寺報も休刊がありました。また継続して発行してゆく所存です。

さて当西来寺に3人の僧侶がふえました。お一人は御門徒の藤原義澄さんで6月7日に本山にて得度式を受式しました。法名は釋明澄です。さらに8月5日に私の息子2人が同じく本山で受式しました。法名は兄が釋正賢、弟が釋真教です。得度したての人を新たに仏門に入り菩提心を起こしたというところから『新発意(しんぱっち)』と呼びます。

年齢は様々ですが、お坊さんに成り立ての3人です。これから皆様の前に姿を見せると思いますので、よろしくお願いいたします。

作家 **五木寛之** 先生が
いらっしゃいます
代表作
『大河の一滴』
『親鸞』など



報恩講のお知らせ

本年は作家の五木寛之先生をお招きして『親鸞聖人の情』という講題でご講演をしていただきます。

五木寛之先生は現在、『親鸞』完結篇を東京新聞をはじめ全国四十紙以上の新聞にて連載中です。そのようになご多忙な中、親鸞聖人についてご講演をしていただけることは、滅多にないことで、二度とないかけがえのない時間になると確信しております。皆様、是非ご参加ください。
平成二十五年十月二十八日月曜日
法要開始 午後一時三十分より
場所 西来寺本堂
特別企画 作家五木寛之氏講演
講題 親鸞聖人の情(こころ)

急いでください!
席がなくなっちゃうかも!



大塚正 大塚真 (墨袈裟)



藤原義澄さん 場所: 東本願寺大寝殿日(浄衣)

【門徒 Q & A】得度とは

一般に僧になるため剃髪をして師僧について出家の許可を受けることを得度と言います。度とは迷いの海を渡って悟りの岸に到ること、得度は迷い海を渡りきって悟りの岸に辿り着いてしまったことを意味し、出家剃髪をすることは悟りの岸に到る始めであるから、それも得度と言います。

また得度式を終えると僧侶になった証明書、度牒（どちょう）を頂きます。尚、大谷派では親鸞聖人が9歳で得度したことにちなんで9歳から受けることができます。

大人も子供も得度を受けるには試験があり、三部経を読めることはもちろん、その内容を理解していなければなりません。そして威厳の塊のような先生（たいてい教務所長さん）からひとりずつ直接質問等を受け、合否が決まるのです。無事合格できれば得度式へととなります。

得度はいわば僧としての第一段階。まだまだ道は続きます！

【門徒 Q & A】剃髪とは

剃髪することは出家者を意味しますが、親鸞聖人が在家の生活をしたところから浄土真宗では式の後は普通の髪型にしている僧侶が多くいます。

剃髪ですが、男女ともカラーリングは不可。女性は髪を黒いゴムでとめ、和紙で束ねます。男性は頭髪はもちろん髭、もみあげともしばらくのお別れとなります。まず頭髪の真ん中を前から後ろに一気にバリカンで刈られます。子供たちの中には泣きだしてしまう子もいますが、このきれいな白い道が出来上がったころには、観念するようです。くりくりになったところで、再度泡を付けて今度はカミソリで剃っていき、光り輝くお坊さんへとなります。だいたい1人2時間と言ったところでしょうか。

8月に少年の得度がふえるのは学校が始まる頃になれば、少しは髪が生えるであろうという親心によるようです。



得度式 大塚正 大塚真 平成 25 年 8 月 5 日



得度式 藤原義澄さん 平成 25 年 6 月 7 日

得度式は1月・12月を除き毎月1回（7日）に行なわれていきます。なかでも8月は夏休み期間とすることが受式するため、2回行なわれることが通例となっています。

上段の写真からも、藤原さんが受式された6月と比べ、8月は受式する人数が多いことが分かりますが、8月は得度式が二日間行われるので、実際にはこの写真の倍程の人数が受式することになります。

2013年8月5日の得度式では男性86名、女性45名の計131名が受式しました。（上段写真左）

当日はまず浄衣（じょうえ）と呼ばれる白色の装束に着替え（表面右の藤原さんの写真が浄衣）、儀式がとり行われる御影（ごえい）堂に入ります。午前9時半に得度式が始まり、「剃刀（ていとう）の儀」を受け、僧侶となった証しである墨袈裟（すみげさ）と法名を授かります（上段写真が墨袈裟です）。